

南張貝塚 第2次調査 (なんばりかいづか だい2じちょうさ)

所在地：志摩市浜島町南張 (しましはまじまちょうなんばり)

遺跡への経路：国道 260 号線北側南張集落内

位置情報 URL：

<http://www.gis.pref.mie.jp/Main.asp?X=66631240&Y=-187960607>

調査の種類：本調査

調査原因：中山間地域総合整備事業 志摩地区

調査期間：平成 20 年 4 月 22 日 (火) ~ 平成 20 年 7 月 2 日 (水) (終了しました)

調査面積：500 平方メートル

主な遺構：溝、小穴など

主な遺物：室町時代から江戸時代にかけての土器、陶器

コメント：今回の調査は、排水管埋設工事に伴って、現道下を 0.9 ~ 1.2m 幅で行いました。既設の排水管などにより遺構の確認される面が破壊されていた部分もありましたが、室町時代 (今から 700 年ほど前) から江戸時代にかけての土器や陶器、また溝や穴などの遺構が確認され、南張集落の歴史を知る手がかりとなりました。

見頃：終了しました

問い合わせ先：

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503

調査研究 1 課 / 担当者：西村

電話番号：0596-52-1732 / ファックス：0596-52-7035

e-mail maibun@pref.mie.jp